

様式第 4 号（第 5 項関係）

会 議 録

会議の名称	第 2 回結城市総合計画審議会
開催日時	令和 2 年 7 月 2 7 日（月） 午前 1 0 時 3 0 分～ 1 1 時 1 0 分
開催場所	市役所 2 階 第 2， 3 会議室
出席者	委 員 大木（作）委員，安藤委員， 小笠原委員，中澤委員，渡邊委員 大木（準）委員，野原委員，奥澤委員，石島委員，菅井委員（1 0 名） ※佐藤委員，北嶋委員，廣江委員，鈴木委員，河田委員欠席 事務局 企画政策課：鶴見企画財務部長，大木次長兼課長，福井課長補佐，小貫
議 題	（1）パブリックコメントの結果について （2）第 6 次結城市総合計画基本構想（原案）について （3）答申書（案）について
公開・非公開 の別	公開
傍聴人の数	無
審 議 内 容	（1）パブリックコメントの結果について 意見なし （2）第 6 次結城市総合計画基本構想（原案）について （主な委員意見） ○ 2 ページの「■市民と行政の協働による計画推進と将来都市像の実現」の概念図について，前回の審議会での意見（企業・団体を加えること）を反映させていただいてありがたく思う。これに併せて，概念図のタイトルも変更していただきたい。また，「市民」を図の中心にし，それぞれの輪が重なるようにした方が，より連携・協力のイメージが出て良いと思う。 ○ 3 ページの（1）基本構想の説明にある「市政運営」という表現についてだが，市の政治の運営と誤解されると思うので，「市の行政全般の運営」といった表現に変更した方が良いのではないか。 ○ 49 ページの基本施策 1-4 高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりについて，「高齢者が生き生きと安心して暮らせる地域づくり」に修正していただきたい。安心というのは医療的な面だけでなく，きちんと介護施設が整っているとかが行財政的な面での安心といった意味もある。特に，高齢者

	自身が安心という以外に，高齢者を支える家族の安心という意味の表現も入れ込んではいかがか。 ○現在も公共交通として巡回バスが走っているが，高齢者が住みやすいまちにするため，高齢者が免許を返納しても色々なところに行きやすい公共交通の強化をお願いしたい。 ○市内には三つの県立高校があるが，進学校が無い。他市の高校へ進学すると，若い人たちの結城に対する思いが薄くなると思うので，高校のレベルを上げていくことも今後 10 年間で時間をかけてやっていく必要があると思う。 （基本理念の表現に対する委員の意見） ・ 40 ページの基本理念について，「結城を未来へつなぐ新たなまちづくりを念頭に」とあるが，これまで行ってきた市民意識調査やホームページによるアンケート調査の結果を見ると，子どもも高齢者も暮らしやすい安心できるまちづくりというのが一番のポイントになると思う。結果との整合性を図る意味でも「暮らしやすく安心できるまちづくりを念頭に」といった形の方がいいのではないか。 ・ （上記意見に対し）アンケート結果は確かにそうだが，市民全体に対する計画なので，子どもでも高齢者でもない世代がそれをどう受け止めるか。あえて子どもと高齢者に絞る必要は無いと思う。 ・ （上記意見に対し）魅力あるという表記を加えるのはいかがか。「結城を未来へつなぐ新たな魅力あるまちづくり」ということであれば，子ども，高齢者，青年中年世代も含まれるのではないか。 （３）答申書（案）について 意見なし
問合せ先 （事務局）	企画財務部 企画政策課 政策調整係 T E L 0296-34-0404 （内線）227 F A X 0296-32-7123 e - m a i l kikaku@city.yuki.lg.jp
そ の 他	